

経営発達支援計画の概要

実施者名	阿哲商工会
実施期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日
目標	<p>小規模事業者の事業計画作成を通じて、変化する経営環境への対応と企業の持続的発展を支援し、経営力向上や海外展開を含む販路拡大、事業規模の拡大による雇用の創出を図る。また、創業支援・事業承継支援を行い、新見市の未来を背負う経営者を育成していくことにより、地域を支える企業の増加、I・Uターン起業による新たな産業の創造を図る。</p> <p>さらに、中期的な取り組みとして6次産業化支援を行い、「アグリカルチャーからアグリビジネスへ」を目指し、地域の特色を活かした新たな事業創出と地域資源を活用した商品開発と販路開拓の支援などを行う。</p>
事業内容	<p><u>I. 経営発達支援事業の内容</u></p> <p><u>1. 地域の経済動向調査</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の経済動向に関する分析結果を取り纏めた資料を作成し、管内小規模事業者に提供するとともに、事業計画策定時に活用。 <p><u>2. 経営状況の分析</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 巡回・窓口相談をはじめ、事業者とのあらゆる関わりを通じて経営資源や特徴を掴み、「事業価値を高める経営レポート」作成を行う。 <p><u>3. 事業計画の策定支援</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 事業計画策定の必要性の周知と、経営の持続的発展を実現し新たな需要の獲得に必要な事業の再構築を図るための事業計画策定支援。 創業を図る企業や、創業間もない（5年未満）企業の育成と基盤強化を図るため、他の支援機関等と連携して創業塾を開催。 <p><u>4. 事業計画策定後の実施支援</u></p> <ul style="list-style-type: none"> よろず支援拠点、県産業振興財団、県連合会をはじめとした地域の中小企業支援機関及び金融機関等と連携しながら、伴走型の支援・助言を行う。 小規模事業者経営発達支援融資事業を活用して金融面での支援を図る。 創業後も販路開拓支援や記帳指導の強化などにより、伴走型の支援を実施。 地域資源を活用した新たな産業の創出を図るため、6次産業化に取り組む農業者の相談・支援を行う。 <p><u>5. 需要動向調査</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 事業者の取り扱う商品・役務の需要動向について取り纏めた資料を作成し提供。 地域資源を活用した商品や役務に関する需要動向情報を収集・分析し、展示会・商談会への出展者に情報提供して販路開拓支援を行う。 <p><u>6. 新たな需要の開拓に寄与する事業</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 6次産業化に取り組む事業者の販路開拓・商品認知度向上を支援する。 各機関が実施する海外展開を含む展示・商談会・セミナーへの参加・出展支援及びダイレクトマーケティングに関するセミナーの実施。 小規模事業者持続化補助金の積極的な活用推進と、販路開拓の取り組みを支援。 <p><u>II. 地域経済の活性化に資する取り組み</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 集客による地域活性化を目的とするイベントの開催。 地域住民の生活を支援するコミュニティビジネスの推進。 地域コミュニティ産業サポート事業の推進。 にいみ推奨特産品リニューアル事業計画（素案）の推進。
連絡先	<p>阿哲商工会 岡山県新見市神郷下神代 4898 番地 9 TEL 0867-92-6103 https://www.atetsu.net/</p>

【事業の成果・評価・見直しの結果等（令和元年度実績）】

I. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査

達成度	達成・未達成の要因
<p>H27 年度に作成した、経済動向調査の概要版を、商工会の総会、理事会、各種セミナーで配布し、事業計画策定の啓発活動に活用した。その結果、事業計画策定件数は、</p> <p>平成 27 年 37 件 平成 28 年 29 件 平成 29 年 42 件 平成 30 年 45 件 平成 31 年 51 件 合計 204 件行っている。</p>	<p>・事業承継セミナー、販路開拓セミナー、各種補助金の活用により、事業計画作成事業者が順調に増加している。</p>
	主な今後の予定・改善点
	<p>・さらに実効性のある提案を行っていくためには、従来のものに加え個々の業種に合った動向調査の必要がある。昨年に引き続き、H29 度を実施した住民アンケートの結果を分析し、地域経済活性化の課題を明確にしたうえで解決に向けたプランを策定した。</p>
有識者会議における今後の見直し等に関する意見	
<p>・数値目標が設定されているものは、数値目標に対しての達成度を記載していただきたい。</p> <p>・事業承継アンケートは、これからの商工会に求められる役割を明確にできるものにしていただきたい。</p>	

2. 経営状況の分析

達成度	達成・未達成の要因																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>支援内容</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小規模支援会計momo利用者</td> <td>79</td> <td>79</td> <td>70</td> <td>73</td> <td>74</td> <td>84.1%</td> </tr> <tr> <td>経営状況登録事業者</td> <td>199</td> <td>205</td> <td>211</td> <td>214</td> <td>233</td> <td>101.4%</td> </tr> <tr> <td>経営レポート作成件数</td> <td>4</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>32.0%</td> </tr> </tbody> </table>	支援内容	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	達成度	小規模支援会計momo利用者	79	79	70	73	74	84.1%	経営状況登録事業者	199	205	211	214	233	101.4%	経営レポート作成件数	4	12	16	9	8	32.0%	<p>・経営レポート作成までに至っていないが持続化補助金等のヒアリングにより事業計画書の作成は目標以上の実績値となっている。</p> <p>・momo 利用者及び経営レポート作成は目標としている件数には届いていない。引き続き目標達成に向けて取り組んでいく。</p>
支援内容	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	達成度																							
小規模支援会計momo利用者	79	79	70	73	74	84.1%																							
経営状況登録事業者	199	205	211	214	233	101.4%																							
経営レポート作成件数	4	12	16	9	8	32.0%																							
	主な今後の予定・改善点																												
	<p>・小規模事業者の経営基盤の強化が喫緊の課題でもあるので、そこに繋がるような支援を行っていく。</p> <p>・今後は、経営デザインシートと共に経営レポートの作成を推奨し、作成者を増やしていく。</p>																												
有識者会議における今後の見直し等に関する意見																													
<p>・活用ツールを変更しながら事業を進めていくことは良いことだと思う。経営発達支援計画が長期的な計画のため、時代の流れと共に当初と変わってくることは当たり前である。時代の流れに合わせた変化をこれからも続けてほしい。</p>																													

3. 事業計画の策定支援

達成度							達成・未達成の要因
支援内容	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・連携機関との情報共有のもとで創業者の支援に結びついている。 ・市の支援策の認知度向上もあり、事業計画策定に取り組む事業所が増加してきている。 ・補助金制度が後押しとなり経営計画策定が出来てきているので、良い傾向にあると考えている。
セミナー・説明会開催回数	2	2	2	2	2	100.0%	
事業計画策定事業者数	37	29	42	45	51	170.0%	
うち経営レポート作成件数	4	12	16	9	8	32.0%	
支援内容	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	達成度	主な今後の予定・改善点
創業塾開催回数	-	1	1	1	1	100.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き創業者の掘り起こしと創業支援を行っていく。商工会報紙を市内折込型に変更し、更なる認知度向上と創業者の掘り起こしに努める。
創業セミナーの開催	1	1	2	2	2	100.0%	
創業支援者数	5	5	6	7	9	180.0%	
第2創業（経営革新）支援者数	5	3	6	6	8	160.0%	
有識者会議における今後の見直し等に関する意見							
<ul style="list-style-type: none"> ・5年目の最終年度であるため、過去5年間での累計で、全会員のうちいくつの事業者が経営計画等を作成したのかが分かると良い。 ・補助金申請時の事業計画は単年の計画が多いと思う。これからは、経営革新や経営力向上計画の申請を通じて、中長期的な計画作成に取り組んでいただきたい。 							

4. 事業計画策定後の実施支援

達成度							達成・未達成の要因
支援内容	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・チームによるフォローアップ件数が増加するなど効果的な指導が出来ている。 ・ホームページ並びに、フェイスブックを連動させリアルタイムで情報発信を行った事で、幅広い層への周知を行う事ができ、件数に繋がった。
周知によるフォローアップ件数	42	58	75	94	116	145.0%	
売上高について（不明を除く、以下同じ）、 H29年度（対象事業者75社） 売上増加及び横ばい事業者率 70.0% 売上減少事業者 19.0% H30年度（対象事業者94社） 売上増加及び横ばい事業者率 85.0% 売上減少事業者率 13.0%							主な今後の予定・改善点 <ul style="list-style-type: none"> ・事業者の経営基盤の強化を目標に、事業者の業績・内容に応じた提案を行っていく。 ・引き続き多頻度の情報発信に努める。今後は、市報への馳せ込みを市に要望し、新見全戸への情報提供を図っていく。
粗利について、 H29年度（対象事業者75社） 粗利増加及び横ばい事業者率 71.7% 粗利減少事業者率 18.0% H30年度（対象事業者94社） 粗利増加及び横ばい事業者率 81.9% 粗利減少事業者率 14.0%							
有識者会議における今後の見直し等に関する意見							
<ul style="list-style-type: none"> ・増加及び横ばい率が上昇しており、素晴らしい結果である。これからは、減少した事業者から理由を聞き出し、支援に繋がるとさらに良いものになると思う。 							

5. 需要動向調査

達成度	達成・未達成の要因
<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報提供事業者 18社 ・ 展示会・商談会出展事業者 11社 (本年度、産業フェア未実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 販路開拓セミナーや個別の提案により掘り起しが出来ている。 ・ 創業者・第二創業者に対しても、随時情報提供を行っている。 ・ これまでの支援の経験から事業者には有益だと思われる展示会・商談会をピックアップし、参加を勧める提案が出来ている。
	主な今後の予定・改善点
<ul style="list-style-type: none"> ・ 単に表面的な需要を知ることだけではなく、なぜ需要が増加しているのかといった背景要因などを把握し指導を図っていく。 ・ 販売戦略、事業戦略の策定を支援していく。 ・ 情報発信を行うため RESAS 等の情報を全員で共有し有効な活用が図れるように取り組む。 	
有識者会議における今後の見直し等に関する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 買う側と売る側の取引規模感の把握が重要であり、マーケット需要を捉える上では整理が必要であると感じている。 また、どこにもない商品づくり、品質管理の徹底、卸へのルート設計（口座開設）が強く求められているが、どこにもない商品作りに関しては、阿哲地域は地域資源にも恵まれており、事業者の特性をみても可能であると見える。今後も期待している。 	

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業

達成度							達成・未達成の要因
							<ul style="list-style-type: none"> ・ マーケティング視点による出展に向けた準備、購買側から見た魅力の訴求、訴求ポイントの磨き方、展示ブースの効果的な活用、より良いプレゼンテーションの実施、成果獲得に向けた事後フォローにより、取引拡大の成果が出始めている。 ・ 同行支援が4年目になり、新たな事業者を巻き込みながら有効に活用出来ている。
							主な今後の予定・改善点
							<ul style="list-style-type: none"> ・ 同行支援に留まらず、今後の商品改良においても継続した支援を行っていく。 ・ 来年度は、百貨店にて新見特産市（仮称）を企画立案し、関係機関と共に実施していきたい。
有識者会議における今後の見直し等に関する意見							

支援内容	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	達成度
販路拡大セミナーの実施	1	1	1	1	1	100.0%
展示会出展支援者数	18	14	22	8	11	50.0%

- ・様々な支援による取引増加や売上増加といった情報を継続して集計し、成果が分かるようにしてもらいたい。
- その情報は新見市への提言に必ず活かせると考える。

II. 地域経済の活性化に資する取り組み

達成度							達成・未達成の要因
							<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、市内ではにいみの森フェスタとA級グルメフェアが同時開催、また、東京浅草にある“るるぶキッチンASAKUSAエキミセ”で、A級グルメフェアとしてA級グルメの提供、メディア向けのメディアレセプション、バイヤー・シェフ向けのメーカーズディナーが開催され、商品の認知度向上・販路開拓のための支援を行った。 ・まちづくり委員を中心とした地域コミュニティ産業サポート事業において、地域の課題抽出に向けた会議を開催した。
支援内容	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	達成度	
A級グルメフェア-出店社数	8	8	7	3	6	50.0%	
まちづくり委員会開催数	3	1	3	3	1	33.4%	
イベント開催数	4	4	4	4	4	100.0%	
情報交換会議の開催	1	10	12	12	12	400.0%	
コミュニティサービスに 参加企業数	25	25	25	25	25	62.5%	
							<p>主な今後の予定・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にいみ推奨特産品協議会と連携を強化し、効果的なPR手法を提案していく。 ・地域の事業者が主体性をもった着地型観光事業を企画立案し、A級食材を含めた新見市の認知度向上を図り、事業者の売上増加につなげる働きかけを図る。
有識者会議における今後の見直し等に関する意見							
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、これから実施する事業承継アンケート結果も産業会議に提出し、市への提言へ活用していただきたい。 							